

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

2021年度 春学期・夏学期開講

科学技術政策特論

第9回講義

2050年カーボンニュートラル実現に向けて
～ 再エネの最大限導入への道筋 ～

資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部長
茂木 正 氏

茂木先生からのメッセージ

世界のエネルギーを取り巻く情勢は激変しています。再エネの価格が低下する中、日本では再エネの大量導入はどこまで進むのか、そのために必要な蓄電、エネルギー制御技術、水素技術を活用の現状はどうかなど、多様な産業を巻き込んで加速する脱炭素化の流れを紹介します。欧米に加え、中国やインドなども、エネルギー転換に向けた取組を加速させています。日本も、3E (Energy Security, Economic efficiency, Environment)+S (Safety)の基本理念に立ちながら、いかにしてエネルギー転換と脱炭素化を両立していくべきか。改訂作業中の「エネルギー基本計画」を紹介しながら、皆さんとこの国の未来を考えたいと思います。

日時： 6月25日(金)

5 講目 16:30-18:00

オンライン開講

茂木 正 先生

平成4年3月、北海道大学大学院工学研究科修士課程修了。同4月通商産業省(当時経済産業省)に入省。資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部省エネルギー対策課長、製造産業局化学課長、同局素材産業課長、資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部政策課長、中小企業庁長官官房総務課長、大臣官房参事官(高度人材戦略担当)兼危機管理災害対策室長を歴任。令和2年7月より現職。

特定回のみ聴講も可です。6/23(水)までに「氏名」「所属」「特定回の日付」「講師の方のお名前」「聴講希望理由」を添えてCEED事務室へメール送信してください。

ZOOMのURLを返信します。

宛先 ceed-ind@eng.hokudai.ac.jp

件名 「科学技術政策特論の聴講」

担当:工学系教育研究センター 矢久保考介教授